

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ささゆり

2 目標達成計画

作成日: 令和 2 年 11 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	計画書を作成し本人の承諾は取っているが、家族の意向を確認していない。	家族に計画書変更がなくても説明し同意を得る。	家族の都合に合わせて、自宅に赴くなり当ホームに来てもらうなりして説明同意を得る。	3ヶ月
2	5	"グループホームささゆりの身体的拘束適正化のための指針"に 8. 身体拘束等の適正化のための職員教育及び研修 で① 定期的な教育・研修(年2回以上)と謳っているが、コロナ感染症防止で職員の密集密接を避けるため実施されなかった。	身体拘束等の適正化のための職員教育・研修(年2回以上)を定期的実施する	10月28日 職員一人ひとりに「高齢者虐待の具体例」の資料を配布した。当ホームの現状を職員同士で話し合い、身体拘束が行われていないことを確認した。次回は密集密接を避け少人数での研修会を何回も行い、全員に行き渡らせる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。